

# 創立百周年記念事業の成功に向けて…同窓生の意志の結集を

母校伊那弥生ヶ丘高等学校は、平成23年に創立百周年という大きな節目の年を迎えます。この機会にて、記念事業成功のため同窓生の意志の結集をお願いします。この記念事業推進のために、同窓会・学校・表し、輝かしい伝統を次代に繋ぐべく未来への飛躍を目指して記念事業を計画いたしました。

## 環境整備委員会 (委員長 西原 功)

現在の学校の状況を見て、聴いて、何が必要であるのか、またまた同窓会がどのように関わったらよいか、さらには世界的な経済不況の中で、最小の経費で最大の効果をあげるにはどうした良いのか何度も検討を重ね、つぎの事業を決定しました。

### ①多目的教室の整備

県下公立高校の6割強の学校において、何らかの形で自習室が整備されていて、進路希望実現に大いに役立っている状況です。

母校においては静かな環境で学習できる場所がないために近隣の施設等を利用していますが、スペースや時間の制約等があるために十分取り組むこともできないのが現状です。そこで生徒たちが安心して学習に取り組むことのできる場を整えてあげることがより高い進路希望の実現の保障に有効です。

場所については、現在空き教室となっている2階の視聴覚室を活用します。現在室内の構造や設備について学校側の希望等を含めて具体的な検討を進めています。

また、この多目的教室は、同窓会が会議室として利用することが可能となり、多人数での会議の開催に活用することができます。

この事業が記念事業の中心となります。

### ②クラブ活動の助成

限られた学校予算の中で、備品が不足したり活動が制限されているクラブが多い現状です。そんな中においても、運動系、文科系の様々なクラブが多くの大会でそれぞれ優秀な成績を収めています。思い切り活動できる環境を整えることにより、より一層活躍の場を広げてもらえることができます。

備品楽器がないために近隣の学校から楽器を借用していたり、生徒が自費で購入している吹奏楽部の現状や、マイクロバスが2台しかないためにクラブの遠征や大会が重なった場合には、先生や保護者が自家用車で生徒を輸送する等の問題等もあげられており、現在、学校からの要望を集約しながら内容を検討しています。

### ③その他学校環境の整備

弥生ヶ丘の象徴でもある桜並木の枯損が激しく危険な状態であるため、桜の手入れと記念植樹を行い二百周年にむけての環境整備等を行うこと等について検討しています。

### 西原委員長談

記念事業の成功に向けて皆様のご協力をお願いいたします。

私は共学一期生です。卒業後30年を機に先日4名の恩師にご臨席いただき、総勢90名で同期会を開催しました。その席上「弥生も男子入学が多くなり、上伊那で1番人気ある高校との事、そこに良い先生と生徒がいたため」と自慢しました。(私は生徒会長でした)出席者全員で「共学一期生が、良い伝統を守り続けるため、百周年を機会により一層弥生の輪を広げ、発展させるよう率先して協力しよう!」と誓い合いました。

皆さん、百周年を単なるイベントで終わらせず、未来へ繋ぐ架け橋の土台になるよう、卒業生の誇りを結集し、記念事業を成功させようではありませんか。ご協力をお願いいたします。

## 記録委員会 (委員長 東條 明彦)

### 別紙「百年のあゆみ」について参照

「写真に見る100年」と「80年のあゆみ後の20年史」、「33回名古屋動員の記録」の3部構成からなる記念誌の発行にむけて現在編集作業を進めています。母校の百年という歴史の重みや伝統を懐かしくご覧いただけるものと思います。式典の記録等も掲載しますので、発行は式典後となります。

本日注文書を同封しましたので、是非ご購入いただきますようお願いいたします。

母校が歩んできた歴史を振り返り、先輩が築きあげてきた輝かしい伝統を思い、今後の更なる発展を願うPTAが実行委員会を組織し、百年の歴史を支えてくださった地域社会、関係機関への感謝の気持ちを

## 募金委員会 (委員長 中村 くに子)

実りある記念事業にするため、募金目標額5,000万円を目指しています。主な使途については、記念事業の中心事業である多目的教室の整備やクラブ活動の助成等の環境整備費、記念誌の作成、百年の歴史の中ではじめての活動である同窓会報の発行等、記念式典・祝賀会の開催、その他事務局開設にあたっての諸費用や管理運営費等になります。

まず、同窓会員の皆様に「趣意書」と「募金要領」をお配りし、ご理解をいただきたいと思っております。各支部の組織のご協力を得て、募金委員が直接訪問する方法と、遠方については郵送により「振込取扱票」で納入いただく方法とで募金活動を進めてまいります。あわせて地元企業等を中心とした篤志者の方々へのお願いも積極的に行っていく予定です。

厳しい社会情勢の中ではありますが、百年という大きな節目を迎える母校がこれからもますます発展しますよう是非皆様のお力をいただきたいと思っております。別紙「趣意書」及び「募金要領」をご覧いただければ幸いです。

## 式典委員会 (委員長 前林 美津子)

### 創立百周年記念式典・祝賀会

期日 平成23年10月8日(土) (予定) 会場 長野県伊那文化会館 (予定)

現在内容等について検討しています。多くの同窓生の皆様にお会いできることを楽しみにしています。親しくまた懐かしくお話ができることと思っております。会場を同窓生でいっぱいにしましょう。

## 名簿委員会 (委員長 春日 喜代子)

創立百周年を記念して同窓会員名簿を作成し、昨年8月お申込みいただいた皆様のお手元にお届けさせていただきました。

今回の名簿発行に際しては、同窓生の規模が大ききこと、また、前回の発行より10年の歳月を経て、多くの会員の動向が変化していること等により、精度を上げるため専門業者に依頼しました。調査、編纂に当たっては、個人情報の慎重な取り扱いを重視し、本人の意思確認を経て掲載しました。

名簿はモスグリーンの表紙に金箔の題字という百周年にふさわしい素晴らしいものが完成しました。中には会員の動向のみでなく、創立当初から現在の男女共学までの歴史をたどる写真も掲載されています。

この名簿は、同窓会本部にとっては会の活動の根幹である会員の把握のためにも重要なものであり、また、同窓生の皆様にとっても、青春時代に思いを巡らすものとなり、また、同窓生の絆を深めるお役に立てるものとなることを願っています。多くの皆様からご購入いただきましたが、まだ在庫がありますのでご希望の方は事務局までご連絡ください。(一部4,500円)なお、会員の皆様の個人情報保護の取り扱いには万全を尽くしてまいります。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

## 記念品委員会 (委員長 堀口 喜美子)

創立百周年記念事業実行委員会総会にて、貴重な募金を記念品に使用するのはなく、母校のため、同窓会のために使用した方がよいと決定されました。今回記念品はございませんが皆様のご理解をお願いいたします。

